

幼稚園でも、家庭でも環境を急速に理想的な環境に改めることは出来ない。しかも幼児達はこれらの環境に応じて行動をとるようになるので施設の不備を補うために、適切な指導が工夫されなければならない。この点から、生活指導を幼稚園の指導内容の一項目である『遊びや仕事のきまり』を守る』をとりあげて考察を試みた。

○ 幼稚園指導要領には、いろいろなきまりは誰が作っているか。

一、幼稚園のきまりは誰が作っているか。
教師は一方的にきまりを強制していることはないであろうか。
○ 幼児にとって正しいきまりであるか否かは、幼児の実態から反省されなければならない。

二、五才児はどの程度きまりが守れるか。

○ 一昨年行つたビアーゼの道徳判断テストによつて、幼児は、道徳的判断では結果的な判断が多く

行動と意識とがまだともなわない。即ち原因、結果の思考はできないといふことがたしかめられたと思う。これはまた、きまりについてもいえると思う。

三、どんなきまりがあるか

教師のきまりは質問により、家庭のきまりは質問紙法により、子どものはきまりは幼稚園、家庭とも話し合いにより調査した。
● 子どもが受けとめているきまりには、個人的に教師から注意をうけたことを、きまりと感じて、それは、それぞれのできごと

によって、瞬間にそのきまりを変えているようにも思えた。

● また集団生活をすることから起る問題解決や人ととの交渉によって起つてくる問題をきまりに考へておいて、即ち『人をたたかないと』ことから、幼児が何を訴えて

いるか、教師が感じとめる必要があ

り、幼児同志で解決できる方法を考へておいて、母親の注意がよく反映され、母親の受けとめているきまりについては、母親の注意がよく反映されておるようである。母親の注意が、子どものきまりとして受け

とめられているので、母親の感情

① 幼稚園におけるきまり

多い順	教師が考えている きまり	幼児が受けとめている きまり (幼児の話合いで)
1	片附けの合図で、みんなで片付ける	遊んだ後、片付ける
2	廊下を走らない	けんかをしない
3	靴を下駄箱に入れる	砂や石をなげない
4	みちぎさしないで、きまったく道を辿る	人にいたずらしない
5	幼稚園の門から出ない	水道の水をたくさんださない
6	大声でしゃべらないこと	机にのばらない
7	机にのばらない	机にのばらない
8	カバンや帽子をきまったく所にかける	鞄や帽子をかわりばんこにする
9	当番は机をひいて食事の用意をする	門から出ない
10	ブランコは、順番にのる	粘土積木椅子などなげない
11	信号をみて、道路を往復する	紙などちらさない
12	便所のはきものを揃える	カバンや帽子を自分の所にかける
13	手洗いや、うがいをする	靴は下駄箱に入れ人の靴をかくしたりしない
14	用便は、便所でする	廊下を走らない
15	草や木、花を折ったりしない	人にいじわるしない

的な叱り方については考えねばならない。

しかし、このように幼児はきまりを知ることは、なかなかむずかしい。ここに指導の眼をむけて行きたいと思う。

四、幼稚園におけるきまりをどのようにして徹底させたらよい

※具体例について

② 家庭におけるきまり

多い順	親が考へているきまり (家庭調査により)	多い順	幼児がうけとめている きまり (幼児の話しあいにより)
1 遊んだ後や自分のものは自分で片付ける	1 お母さんに手伝いをせなんとか	1 赤ちゃんを泣かすといかんあはれたり、さわいだりする	1 お母さんは仕事のじまする
2 朝晩食事の前後來客ねるときなどのあいさつ	2 小使をあまりたくさん使うといかん自分でスマックやカバンを片付ける	2 けんかするといかんお母さんの仕事のじまする	2 お母さんのお金とるといかん
3 小使いを制限して無駄使いしない	3 自分でスマックやカバンを片付ける	3 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	3 お母さんのお金とるといかん
4 はやね、はやおき	4 赤ちゃんを泣かすといかんあはれたり、さわいだりする	4 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	4 お母さんのお金とるといかん
5 食事前後に手を洗う	5 けんかするといかんお母さんのお金とるといかん	5 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	5 お母さんのお金とるといかん
6 夕方五じ(六じ)に帰宅	6 けんかするといかんお母さんのお金とるといかん	6 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	6 お母さんのお金とるといかん
7 外出するときは告げてゆく	7 けんかするといかんお母さんのお金とるといかん	7 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	7 お母さんのお金とるといかん
8 外出後うかいをしたり手足を洗う	8 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	8 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	8 お母さんのお金とるといかん
9 暮夕の仏様の礼拝	9 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	9 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	9 お母さんのお金とるといかん
10 忙しいとき父母に手伝う	10 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	10 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	10 お母さんのお金とるといかん
11 ねる前、歯みがきをする	11 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	11 お客様が来たらさわいだらいかん	11 お客様が来たらさわいだらいかん
12 他所からもらったものは家に告げる	12 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	12 夕方早くかえらんといかん	12 夕方早くかえらんといかん
13 云われたら返事をする	13 お母さんのお金とるといかんお母さんのお金とるといかん	13 障子やふすまをやぶるといかん	13 障子やふすまをやぶるといかん
14 食事前の用意や片付けでテレビについて(九じまでダイヤルなど)	14 野球するときがらすをわるといかな	14 野球するときがらすをわるといかな	14 野球するときがらすをわるといかな
15	15 食事や用便後の手洗いをする	15 食事や用便後の手洗いをする	15 食事や用便後の手洗いをする

① きまりに対する幼児の知識調査 (年長児、一年児、年少児、計 28 名の調査)

項目 具体例	よいと思う かわるいと思 うか	その理由	幼児の解決法
① うよな便 かいら所 こべのと る履 か事物 どはを	よい 28名	<ul style="list-style-type: none"> きたなくなるから わからんごとなるから つきのものがすぐされんから 片足ないとはいきんがつくから 下におもるけん わからん 	<ul style="list-style-type: none"> 11・かいてある方がごちゃごちゃし 13・ないからよい 1・そろえ易い 1・そううは大事にしましょうとか 1・いとくよか 1・男子はせどもものは動けないから 1・不自由だと云う子どももいた
② な砂 い場 の砂 を持 ち出 さ	持 ち出 し た い ない 28名	<ul style="list-style-type: none"> 皆の眼に入るから 誰のくつにでも入るから 砂場の砂がなくなるから 片付けるときおそくなるから どうしてでん まだ持って帰しとくよか おはちゃんの砂ぼもって来なは つけん どろのまざるけん わからん 	<ul style="list-style-type: none"> 3・持ちださないといい 14・また返しとく 1・ろうかを走らないようにかいて 4・おく 1・廊下の真中に花をおいておく 1・どれ位やかましいかはかってお く
③ 廊 下 を 走 ら な い	走 っ た る わ る い 27名	<ul style="list-style-type: none"> ほこりがたってきただないから やかもまい おじちゃんたちのおごらすから けがするけん お話するとききこえないから ねむるときねむられるから 人に迷惑かける 身体検査のときはかられんから ころがるから 	<ul style="list-style-type: none"> 4・歩いていく 1・そろそろいく 静かにいく 3・走る人には言つてやる 4・ろうかを走らないようにかいて 3・おく 1・廊下の真中に花をおいておく 1・どれ位やかましいかはかってお く
④ い机 の上 にの ら な	机 にの るの はわ るい 27名	<ul style="list-style-type: none"> 机がきたなくなるから 机をぶかんから 机で御飯をたべるときたない から 行ぎがわるい ばいきんがお盆につく 机の上に足かたがつく 机がこわれるから 	<ul style="list-style-type: none"> 10・机がきたなくなるから 7・机をぶかんから 7・机で御飯をたべるときたない から 1・机の上に足かたがつく 1・机がこわれるから
⑤ 入靴 を下 駄箱 に	入れ るの がよ い 28名	<ul style="list-style-type: none"> くつがなくなるから 間違えたりする わからんごとなる 大のどって行く ふまるから すぐ集れんごとなる 	<ul style="list-style-type: none"> 20・出している人にはなおしてやる 2・出している人には先生がとると 1・いい 1・云つてきかせる 1・すぐにとりにいかん

考察

① 便所のはきものについては、

る。

● 便所のスリッパを揃えてぬぐことはよいとしている。その理由と

しては「わからんごとなる」「き

らが多かった。児のきまりに出てきている。理由

として、

砂場の砂がなくなるか

うことが一番多く、幼児なりにそ

の解決法を考えている。これは教

師のきまりとしては上位になつて

いるが、

児は、下位になつてい

● 理由としては、やかましいと言

う

こと

が

そ

きまりの具体例	教 師 の 指 導	幼 児 の 反 応	解 決 法
家庭の協力によって			基本的な習慣などは主な要因である(省略)
習慣形成によつて徹底させるきまり	1 便所のはきものをならべる 環境に順応させる(施設などの改修工夫により)	<ul style="list-style-type: none"> 四月当初「便所のスリッパを揃えてぬぎましょう」とことばで指示した 五月中旬に便所の戸の前にスリッパの絵をかき、だまっていた 男児は下駄をのけて、せともの動かないものにした 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児は時々ならべるが、すぐにみだれいる 幼児は一所懸命にぞうりをならべている いつもぞうりをならべるようにになった
	2 砂場の砂を持ち出さない	<ul style="list-style-type: none"> 昨年までは砂場の樋がなかった 五月中旬に砂場の樋をつくった 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児は砂をもち出して遊んでいた 幼児はころんと擦過傷が多くた 砂場の砂をもち出す子どもは殆んどなくなった
	3 腹下を走らない	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊びの観察で 遊び室は走ってもよいときめる他の室は走らないようにときめる 「人に迷惑をかけない」という集団生活をするうえに必要な刺激は与えなければならない 室の中で話しきいているとき外を走って他の幼児達がとおると 年少児でも教師が前に立って「つまさきでいきましょう」と指示して行動すれば 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児は約束してごっこ遊びをし走って遊んでいる 幼児は実行する事は困難であった
	4 机の上にのぼらない きまりでつづきをなすことを徹底させる	<ul style="list-style-type: none"> 幼児が机の上にのぼった時はすぐ に机の上をふくように指示する 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児はすぐに実行出来る また幼児同志でも解決出来るようである
	5 はきものを下駄箱に入れる	<ul style="list-style-type: none"> 1週間の調査によると 室内の集りと園庭の集りをする 忘れた幼児の靴を教師がなおすようにした 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ子どもが忘れている 室内の集りの時忘れている子どもが多い 帰る時に幼児にさがさせる 1週間位で大体忘れる幼児がなくなった
	6遊びについて	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊びの観察で 年長児 年少児 	<p>年長</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月16日おまつりごっこ ① 材料の工夫 ② 場所をかえる ③ 馬をつくるなど <p>・詰合いで遊ぶのが発展し、ルールが作られている</p> <p>年少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ままごとから、どろぼうごっこなど、瞬間に変っている
	7 幼児自身のけんかの仲裁	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊びのけんかについて観察する 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児同志で、力の強い子に訴えている 「口で云うといいじゃないか」と云って仲裁している

五、幼稚園のきまりについての指導の実際(上表参照)

六、きまりについての教師の反省

- 幼児は行動的な思考をし、動きながら考えるのであるから、教師は幼児と一緒に考える態度が必要であり、教師は具体的な問題に疑問をもち、幼児の生活の中から、問題を見出さねばならない。
- 幼児自身が問題をみきわめ、自ら、問題を見出さねばならない。
- 指導の実際例を出してみたが、実践してみて、その環境のみに順応させて、習慣化させようとした私の試みは失敗であった。やはり同じ環境でも、幼児が新しい感じ方をするような指導が常に工夫されなければならないことを痛感した。

(熊本市立熊本幼稚園)

*

*

*